

令和6年度使用 小学校用教科用図書について の調査審議結果

※ 「小学校における教科用図書の採択手順」 フロー図の⑦に対応

目 次

国 語 …	1 頁	音 楽 …	1 1 頁
書 写 …	2 頁	図画工作 …	1 2 頁
社 会 …	3 頁	家 庭 …	1 3 頁
地 図 …	4 頁	保 健 …	1 4 頁 ~ 1 5 頁
算 数 …	5 頁 ~ 6 頁	英 語 …	1 6 頁 ~ 1 7 頁
理 科 …	7 頁 ~ 8 頁	道 徳 …	1 8 頁 ~ 1 9 頁
生 活 …	9 頁 ~ 1 0 頁		

令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

国語

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編あたらしいこくご 一上下 新編新しい国語 二 上下 新編新しい国語 三 上下 新編新しい国語 四 上下 新編新しい国語 五 新編新しい国語 六	・児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、1年間を身に付ける力を「言葉の力」と位置づけ、その一覧を示している。 ・自己の考えを形成できるような手立てを工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、何をどのように学ぶのか見通しがもてるように単元冒頭に「言葉の力」「学習の流れ」を示している。	【知識及び技能】 ・思考に関わる言葉や関係を表す言葉等を集めた「言葉の広場」を掲載している。 ・「情報の扱い方に関する事項」で、系統性を意識して「関係」「整理」「調査」「論理」の観点で単元を構成している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・プラスチック問題やオンライン投稿、インターネット等、子どもたちを取り巻く現状に関連した教材を掲載している。 ・対話の仕方や国語のノートの作り方、デジタルノートの作り方等、活用できる内容を年度はじめに示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「読むこと」の領域では、活動の流れが分かるように「見通す」「取り組む」「振り返る」という学習過程を「学習の流れ」として単元冒頭に示している。 ・巻末に当該学年と前の学年で身に付けた力が一覧で分かる「言葉の力のつながり」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・本を通して友達と交流する「本から発見したことを伝え合おう」「ブックトークをしよう」等の単元を設定している。 ・物語や昔話、神話、詩、言葉、科学等の本紹介と著名人の本との関りが書いてある「〇年生の本だな」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元を通して身に付ける力を意識できるように単元冒頭と振り返りに「言葉の力」を示している。また、身に付けた力を生かせるように「生かそう」を掲載している。 ・単元の最後に、身に付けた資質・能力について振り返ることができる「ふり返る」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年生から4年生までは上下巻の2分冊、5、6年生は学年1冊にしている。	・目次で「話す・聞く」「書く」「読む」等が分かるようにマークで示している。 ・情報に関するページの背景を薄ピンク、言葉に関するページの背景を薄黄色等、内容によって色分けしている。 ・学習のポイントや活動内容を「コトハ」「ハテナ」というキャラクターの吹き出し等で示している。
17 教出	ひろがることば 一上下 ひろがることば 小学国語 二上下 ひろがる言葉 小学国語 三上下 ひろがる言葉 小学国語 四上下 ひろがる言葉 小学国語 五上下 ひろがる言葉 小学国語 六上下	・児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、1年間を見通して、どのような力を身に付けていくのか一覧で示している。 ・身に付けた言葉の力を他の学習にも生かせるように教材の配置を工夫している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学びの道筋を見つけていくことができるように、単元冒頭に見通しから振り返りまでを「学習の進め方」として示している。	【知識及び技能】 ・複合語や同じ言葉で意味が違う言葉等を集めた「言葉の木」を掲載している。 ・「情報のまとめ」等の汎用的な知識を巻末に一覧で示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」では、新聞やリーフレットを作成する等、他教科と関連できる言語活動を設定している。 ・環境やSDGs、AIに関連する教材を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「読むこと」の領域では、見通しをもって学びを進めることができるように「たしかめよう」「くわしくよう」「まとめよう」「つたえあおう」という学習過程にしている。 ・巻頭に当該学年で身に付ける力が一覧で分かる「〇年生で学ぶこと」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・6年間で読んだ本をまとめ、心に残った本を紹介する「読書タイムラインを作って交流しよう」を設定している。 ・友情や自然科学、ノンフィクション、ファンタジー等の様々なジャンルの本を紹介してある「〇年生で読みたい本」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の中で重要な事項を「ここが大事」でまとめている。また、教材に出てきた言葉と関連する言葉を「言葉を増やそう」に掲載している。 ・単元の最後に、身に付けた資質・能力や言語活動の観点で振り返ることができる「ふり返ろう」を設定している。 【分量・装丁】 ・全学年上下巻の2分冊にしている。	・目次で「話す・聞く」「書く」「読む」等が分かるようにマークと色で示している。 ・「ここが大事」を、薄い黄色のバックカラーで統一している。 ・フクロウのキャラクターの吹き出し等で学習のポイントや活動内容を示している。
38 光村	こくご一上 かぎぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造	・児童が身に付けていく力のつながりを意識できるよう、今までに身に付けてきた力と、これから身に付けていく力を一覧で示している。 ・身に付けた力を他の単元にも生かすことができるような単元構成の工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、習得と活用とが滑らかにいけるように、単元冒頭につけたい力を「目標」として示している。	【知識及び技能】 ・季節の言葉を味わえる春夏秋冬のページを設けている。 ・「情報の扱い方に関する事項」で「メモをとるとき」「引用するとき」等、情報活用場面を想定した題材を設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・小単元での学びを踏まえて大単元の学習に臨んだり、2つの領域を関連させたりする単元配列がされている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、友達との関わりや学校、地域等を題材にした教材を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「読むこと」の領域では、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という学習過程にしている。また、自ら課題を選択できる「選んで読み深めよう」を掲載している。 ・巻頭に当該学年で身に付ける力と前の学年で身に付けた力が一覧で分かる「〇年生で学ぶこと」「〇年生までに学んだこと」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・本の選び方や本との関り方を友達と交流する「作家で広げるわたしたちの読書」「私と本」等の単元を設定している。 ・物語や絵本、SDGs等の本を紹介する「本の世界を広げよう」を掲載している。また、読んだ本には印が付けられる欄を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「問いをもとう」「目標」「ふりかえろう」の学習の流れがいつでも確認できるように「国語の学びを見わたそう」というページを掲載している。また、国語の学習でできるようになりたいことや楽しみな学習を書く活動を設定している。 ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で単元を振り返ることができる「ふりかえろう」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年生から4年生までは上下巻の2分冊、5、6年生は学年1冊にしている。	・目次の字のフォントが大きく、「読む」「書く」等をマークや色、言葉で示している。 ・「問いをもとう」や学習のポイント等を、薄い黄色のバックカラーで統一している。 ・「たいせつ」「目標」「ふりかえり」等を、マークで示している。

令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

書写

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編あたらしいしょしゃー 新編新しいしょしゃ二 新編新しい書写三 新編新しい書写四 新編新しい書写五 新編新しい書写六	・文字の整え方を身に付けるために、学習のねらいを明確に示している。 ・書写での学びを他の学習や生活に生かすことができる教材を配置している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習のポイントである「書写のかぎ」を軸に、主体的な学びにつながる学習過程を設定している。	【知識及び技能】 ・毛筆の「筆圧」の学習において、筆圧の違いによる線の太さを「強」「中」「弱」という文字で表している。 ・毛筆の学習の際に、筆遣いが理解できるように、解説付きの運筆動画やアニメーションにつながる二次元コードを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた書写の力を活用できるようにノートやリーフレットの作成等、他教科の学習や生活と関連する内容を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・外国語や筆記具の作り方等、文字文化についてさまざまな視点から触れられる「文字といっしょに」を掲載している。 ・良い例と悪い例を提示し、比較しながら学習のポイントを考えることができる活動を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・文字を書く際に相手意識をもてるように「〜で伝えよう」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」という学習過程で構成されていて、目次で「見つけよう」「たしかめよう」を説明している動画の二次元コードを付けている。 ・日常生活と書写の学習をつなぐことができるように、巻頭に「おかしな〇〇」を掲載している。 【分量・装丁】 ・左ページに文字手本を掲載している。 ・1、2年生の巻末に、水書用紙の使い方の説明を記載した水書用紙を付けている。	・毛筆学習の用具の置き方について、右手で書く人だけでなく、左手で書く人にも分かるように動画の二次元コードを掲載している。 ・毛筆の学習において、朱墨を用いた文字手本に擬態語等を付けて筆使いを示したり、文字を整えて書く上での学習のポイントを「書写のかぎ」に言葉で表したりしている。 ・基本点画のポイントを、キャラクターの吹き出しや擬態語、色分け等を用いて示している。
17 教出	しょうがく しょしゃ一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年	・比較を通して文字の整え方の成長を捉えられるように単元の進め方を工夫している。 ・児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、学年に応じて学習過程を変えて構成している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、児童が、自分で課題を解決していくための具体的な方法が分かる「学習の進め方」を提示している。	【知識及び技能】 ・毛筆の「筆圧」の学習において、筆圧の違いによる線の太さを「細い線」「中くらいの線」「太い線」という言葉等で表している。 ・毛筆の学習の際に、筆遣いが理解できるように、「まなびリンク」という運筆動画につながる二次元コードを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分が書いた文字の変容を捉えられるように「ためし書き」「まとめ書き」の欄を設けている。 ・カルタ作りや工場見学のメモの取り方等、身に付けた書写の力を活用できるように「レッツトライ」の活動を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの発達段階に応じて「文字の歴史」などのテーマを設定し、文字に対する興味・関心を高める「知りたい文字の世界」を掲載している。 ・韓国や中国等、他の国の習字の様子が分かる写真を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・学級新聞や思い出に残る言葉等 互いの思いを伝え合う「書いて伝え合う」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・2年生は「つかむ」「考える」「たしかめる」「ふりかえる」、3年生以降は「つかむ」「考える」「書く」「たしかめる」「振り返る」「生かす」「広げる」と、学年に応じて学習過程を変えて構成している。 ・児童が課題解決に向けて、自分の課題に合った練習用紙を作成する「練習用紙の作り方」を掲載している。 【分量・装丁】 ・左ページや右ページに文字手本を掲載している。 ・1、2年生の巻末に、水筆の持ち方と基本となる運筆練習の仕方を記載した水書用紙を付けている。	・毛筆学習の用具の置き方について、右手で書く人だけでなく、左手で書く人にも分かるように資料の二次元コードを掲載している。 ・毛筆の筆遣いが分かるように、朱墨を用いた文字手本の横に解説を示したり、文字を整えて書く上での学習のポイントを「ここが大切」に言葉で表したりしている。 ・様々な動物の動作や擬態語、矢印等で基本点画のポイントを示している。
38 光村	しょしゃ一ねん しょしゃ二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年	・児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう、学習の進め方を常に確認できるように工夫している。 ・書写での学びを、日常や社会等と結び付けて考えられるような教材を設定している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、書写の原理・原則を主体的に学び取ることができるように課題解決型学習を想定して構成している。	【知識及び技能】 ・毛筆の「筆圧」の学習において、筆圧の違いによる線の太さを「1の力」「2の力」「3の力」と、数字で表している。 ・毛筆の学習の際に、筆遣いが理解できるように、解説付きで重要なポイントは繰り返し流れる運筆動画につながる二次元コードを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた書写の力を実感したり活用したりできるように、書写のことばを使って伝え合う活動を設定したり、手紙の書き方や理科のノートの書き方等を掲載した「書写広げたい」を設定したりしている。 ・書写の学習を、自分や社会と結び付けて考えられるように全学年にSDGsに関連した教材を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文字の歴史を知ったり、各地域で伝統的に作られた用具を紹介したりして、文字に対する興味・関心を高める「もって知りたい」を掲載している。 ・1年生の「自分の名前を書こう」で保護者からの応援メッセージの欄を設けたり、巻末に先生や保護者の方へのメッセージを載せたりと、家庭と連携が図れるようにしている。 【かわさき教育プラン】 ・6年生で自分の文字の特徴、良さ、味わいを見付ける「私の文字」という活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程で構成されていて、どの単元においてもこの3つの過程を意識できるように「学習の進め方」を掲載している。 ・6年間で学習したことを日常生活に広げていくように「書写ブック」を付けている。 【分量・装丁】 ・左ページに文字手本を掲載している。 ・1、2年生の巻末に、水筆の持ち方を写真や言葉、動画で説明している水書用紙を付けている。	・毛筆学習の用具の置き方について、右手で書く人だけでなく、左手で書く人にも分かるように2種類の動画の二次元コードを掲載している。 ・朱墨を用いた文字手本の横に解説を載せて毛筆の筆の使い方を示したり、文字を整えて書くうえでの学習のポイントを「たいせつ」に言葉と朱墨で書いた画で表したりしている。 ・基本点画のポイントを、同じ動物の動作や擬態語、色分け、矢印等を用いて示している。

令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

社会

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会3 新編 新しい社会4 新編 新しい社会5上 新編 新しい社会5下 新編 新しい社会6 政治・国際編 新編 新しい社会6 歴史編	・各学年の最初の単元で「学習の進め方」を掲載し、問題解決的な学習を進められるよう、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」といった学習の流れを示している。 ・主体的に社会に関わることができるよう、「いかす」のページで、自分たちにできることを考えるなどの活動を示している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、社会的な事柄に参画、提案する場面を設けるなどの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・見開きページのキーワードを「ことば」のコーナーとして示すとともに、巻末の「この教科書に出てきたことば」や索引で示している。 ・「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の3つの視点から、技能を習得する「まなび方コーナー」を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表や白地図、新聞、カード、関係図、意見文、プレゼンテーションソフトなど、単元のねらいに応じた多様なまとめ方を掲載している。 ・「見方・考え方」について、空間や時間、相互関係に着目する視点や考え方を示す囲みを設け、キャラクターと共に掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「つかむ」のページでは、学習問題と学習計画を示し、「まとめる」のページでは、学習問題とキーワードの「ことば」を示している。 ・「いかす」のページでは、単元で学んだことを生かして、自分たちにできることやこれからの生活を考えるなどの活動を示している。 【かわさき教育プラン】 ・5年では横浜港、6年では鎌倉市の朝比奈切通し、箱根町の関所跡を事例として掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関する構成】 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」といった学習段階に応じた構成にしている。 ・全学年で「まなびのポイント」を設け、学習段階に応じた学習活動を例示している。 【分量・装丁】 ・3、4年は1冊、5、6年は2分冊としている。	・キャラクターが学習の進め方を示したり、見方・考え方を問いの形で示したりしている。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」といった学習の構成によって、見出しの色を変えて学習内容を示している。
17 教出	小学社会3 小学社会4 小学社会5 小学社会6	・各学年の巻頭で「社会科の学習の進め方」を掲載し、問題解決的な学習を進められるよう、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」といった学習の流れを示している。 ・一貫して問いを追究できるよう、「次につなげよう」を示し、課題について選択・判断できるように、「つなげる」を示している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、持続可能な社会の実現に向けて「選択・判断」の場面を設けるなどの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・問題解決に活用することばを「キーワード」で示し、巻末で一覧として示したり、巻末の索引に太字で示したりしている。 ・単元の内容等に応じて「集める」「読み取る」「表す」といった「学びのてびき」のコーナーを設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「時期や時間の変化」「場所や広がり」「くらべる」「関連づける」などの「見方・考え方」をキャラクターの吹き出し等で示している。 ・「まとめる」や「つなげる」のページでは、図表や思考ツールの活用、話し合い等、学習内容に応じて様々な表現方法を示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「つなげる」のページでは、学習してきたことを生かして、生活に関わることやこれからの社会について考える活動を示している。 ・「もっと知りたい」のページでは、児童が個々の関心に応じて活用できるよう、読み物を中心とした文章資料を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・3年では全体を通して横浜市、4年では相模原市の相模湖や相模ダム、藤沢市の小笠原東陽、箱根の畜木細工、5年では東京湾アクアライン等、6年では川崎市の向ヶ丘遊園駅地下通路整備、川崎市の外国人市民代表者会議等を事例として掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関する構成】 ・「みんなでつুক্ত学習問題」「この時間の問い」「次につなげよう」といった学習のつながりを踏まえた構成にしている。 ・6年の歴史の導入で、政治の学習を生かし、参政権の拡大に関する資料を掲載している。 【分量・装丁】 ・3年、4年、5年、6年の各学年をそれぞれ1冊としている。	・キャラクターが学習に関するアドバイスや、見方・考え方の視点や方法を例示している。 ・6年の歴史学習では、白黒写真をカラー化した画像を掲載している。
116 日文	小学社会3年 小学社会4年 小学社会5年 小学社会6年	・各学年の巻頭で「社会科の学習の進め方」を掲載し、問題解決的な学習を進められるよう、「問題を追究」「かいつく」「役だてる」等を示している。 ・深い学びにつながるよう、学習問題を解決したのちに「さらに考えたい問題」を示し、交流する場面を設けている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元の学習問題についての交流場面で「深め合い」活動を設けるなどの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・各単元で「キーワード」を設定し、各学年の巻末で、索引と「教科書に出てきた主な地名(国名)」を地図と併せて掲載している。 ・単元の内容等に応じて、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」といった「学び方・調べ方コーナー」を設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「見方・考え方コーナー」では、「空間」「時間」「関係」の3つの視点で捉えたり考えたりする際のアドバイス等を示している。 ・「学び方・調べ方コーナー」の「表現する」では、発表の仕方や図のまとめ方等、学年に応じて表現する方法を示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しがもてるよう、学習問題について予想を話し合い、調べたいことや調べ方等の学習計画を立てる活動を示している。 ・現代的な諸課題に主体的に取り組めるよう、SDGsコーナーを設け、巻末に「SDGsの目標シール」を綴じ込んでいる。 【かわさき教育プラン】 ・3年では相模原市のまちづくり、4年で小田原市の二宮金次郎(尊徳)、5年では横浜市の食品ロスの取組、6年では鎌倉市の日本遺産認定の取組を事例として掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関する構成】 ・「わたし(たち)の問題」「学習問題」「さらに考えたい問題」とつながる構成にしている。 ・「さらに考えたい問題」等で「深め合い」活動を設定し、これからできることなどを考えるページを掲載している。 【分量・装丁】 ・3年、4年、5年、6年の各学年をそれぞれ1冊としている。	・キャラクターが見つけたことや疑問を示したり、見方・考え方を活動等で示したりしている。 ・本文を、学習活動、学習内容、友だちの発言の三つの役割ごとに分け、文字の大きさや背景色を変えて示している。

令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

地図

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい地図帳	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で興味関心をもてるよう、世界の言語や都道府県の産物、文化等を示した世界地図と日本地図を掲載している。 ・3年生から地図に親しみをもてるよう、「地図のきまり」等をキャラクターが丁寧に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、「ホップステップマップでジャンプ」を掲載し、地図から情報を読み取ったり、読み取ったことから考えたりする活動を促す工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 ・基本的な地図の読み方等を解説するページを設け、キャラクターを活用して説明している。 ・都道府県に関心をもち、地図の活用を生かせるよう、特産品や建造物等を地図から見付けるコーナーを設けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料のページでは、日本の特色を捉えることができるよう、学習テーマに沿った主題図や統計資料等を掲載している。 ・日本の歴史のページでは、時代ごとの世界との関わりが読み取れるよう、年表と世界地図を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・意欲を高める手立てとして「ホップステップマップでジャンプ」を設け、二次元コードに「がんばりシート」を収載している。 ・様々な地図にキャラクターを配置して、地図活用の手掛かりとなるよう、吹き出しを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・世界の地図のページでは、その地域の特色が分かりやすくなるよう、生息する動物や料理等の写真を掲載している。 ・日本の伝統文化のページでは、日本の主な歴史的景観と祭り、世界遺産、郷土料理等の写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「ホップステップマップでジャンプ」では、地図を活用して社会的な見方・考え方を働かせる問題を掲載している。 ・他教科等で活用できるよう、世界の衣装や食事等を掲載している。 【分量・装丁】 ・A4判102頁で、4年間の使用に耐えられるよう、折込ページには折り目を強化する加工をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料のページの雨温図のグラフでは月ごとに交互に色を変えている。 ・土地の高さと土地利用の色分けを、地図の縮尺によって分けて示している。 ・地図中の文字や記号を大きくし、フォントはユニバーサルデザインフォントを使用している。
46 帝国	楽しく学ぶ小学生の地図帳 3・4・5・6年	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で興味関心をもてるよう、世界の言語や地方ごとの産物、文化等を示した世界地図と日本地図を掲載している。 ・3年生から地図に親しみをもてるよう、「地図のやくそく」や「広く見わたす地図」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、「地図マスターへの道」を掲載し、地図の読み取り方を身に付けられるようにしたり、読み取ったことを説明したりする活動を促す工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 ・地図のなりたちや地図帳の使い方等を説明するページを設け、「トライ！」のコーナーで確認するなどしている。 ・持続可能な社会の実現に向けた各地の課題や取組を理解できるよう、SDGsの特設ページを掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料のページでは、比較したり関連付けたりできるよう、学習テーマに沿った主題図や統計資料等を掲載している。 ・地図のページでは、都市周辺の様子を詳しく捉えることができるよう、都市圏図や都市図を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・3年の発達段階に合わせて、巻頭に「地図で世界発見！」、「地図で日本発見！」、「広く見わたす地図」を設けている。 ・意欲を高める手立てとして「地図マスターへの道」を設け、巻末に取組を記録できるページを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・世界の地図のページでは、「集まれ！世界の子どもたち」を設け、世界の国々の文化や特色等を掲載している。 ・20万分の1の縮尺の「東京都とそのまわり」の地図には、川崎市や二ヶ領用水を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「地図マスターへの道」では、地図を活用して社会的な見方・考え方を働かせる問題を掲載している。 ・歴史学習でも活用できるよう、江戸時代のページを設け、町のようにと人々のくらしなどを掲載している。 【分量・装丁】 ・A4判132頁で、4年間の使用に耐えられるよう、折込ページには折り目を強化する加工をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料のページの雨温図のグラフでは降水量の多い月と少ない月の色を変えている。 ・土地の高さと土地利用の色分けを、地図の縮尺によって合わせて示している。 ・地図のページの都道府県名や県庁所在地名は、とめ、はね、ほらいが正しく表現されるユニバーサルデザインの学参フォントを使用している。

令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

算数

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
東書 2	新編 あたらしい さんすう 1① はじめてようし さんすう 新編 あたらしい さんすう 1② みつけよう! さんすう 新編 新しい算数 2上 新編 新しい算数 2下 考えあって おもしろい! 新編 新しい算数 3上 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 3下 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 4上 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 4下 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 5上 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 5下 考えたことが つながるね! 新編 新しい算数 6 数学へジャンプ!	・日常生活から「問い」を見いだすようにしたり、学んだことを日常生活と関連付けたりして学習意欲を高めるような工夫をしている。 ・巻末の補充問題では、関連ページを示し、基礎的・基本的な問題や発展的な問題を掲載し、習熟の程度に応じた学びができるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項である「理数教育の充実」に関して、単元冒頭の日常生活と関連した題材から問題を見いだすように既習事項と未習事項を明確にしたうえで単元が始まるように工夫をしている。単元の「いかしてみよう」では、日常生活に関連した課題を掲載し、学ぶ意義を実感できるような工夫をしている。	【知識及び技能】 ・既習事項の確認ができるように単元導入に「おぼえているかな?」、巻末に「ふりかえりコーナー」を掲載している。また、技能定着のために映像コンテンツを視聴できる二次元コードを掲載している。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・数学的な見方・考え方を働かせて考えたり、今後の学習につなげたりすることができるように、2年生以上の単元末に「つないでいこう算数の目」のページを設定している。 ・データの活用について、「PPDAC」サイクルによる分析の仕方を5、6年生に示している。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・学びを振り返り、学習内容を日常で生かすことができるように「いかしてみよう」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じた学びができるように、2年生以上の巻末「ほじゅうのもんだい」には、「練習問題と似ている問題」と「少し難しい問題」を選択できるようにしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問題解決型学習の授業展開ができるように「問題をつかもう→自分の考えをかき表そう→友だちと学ぼう→ふり返って学ぼう」の順で構成している。 ・1年生は、巻頭に幼稚園や保育園での出来事を想起させる写真を掲載している。6年生は、数学の学習を見据えて、「中学体験入学コース」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年生: 上下分冊, 上A4判, 下B5判 ・2年生~5年生: 上下分冊, B5判 ・6年生: 1冊, B5判	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウト等に配慮して編集している。 ・キャラクターに吹き出しやマークを使い、意識させたいことや見方・考え方を整理している。 ・課題とまとめを緑枠で囲んでいる。 ・算数用語は、太文字にマーカーを引いて表記している。
大日本 4	新版 たのしいさんすう 1ねん① 新版 たのしいさんすう 1ねん② 新版 たのしい算数 2年 新版 たのしい算数 3年 新版 たのしい算数 4年 新版 たのしい算数 5年 新版 たのしい算数 6年	・学習内容に関する事象を取り上げたり、日常生活に関連する課題を提示したりして、主体的に取り組めるような工夫をしている。 ・基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように、巻末の補充問題では、習熟の程度に応じた学びができるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項である「理数教育の充実」に関して、単元冒頭の「新しい学習が始まるよ」では、その単元につながるこれまでの既習事項を取り上げ、学習の見通しがもてるような工夫をしている。「算数たまたばこ」では身の回りの事象と算数を関連付けて考えられるような工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識及び技能の定着を図るために単元末に「たしかめ問題」を掲載している。また、作図の仕方等、映像コンテンツを視聴できる二次元コードを掲載している。 ・割合に関する学習の充実として、3年生で「倍とかけ算、わり算」を単元化して位置付けている。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・学習での数学的な見方・考え方を確認、整理できるように、2年生以上の巻頭に「算数の大切な考え方」「ひらめきアイテム」を掲載し、単元内においてキャラクターの吹き出し等で「ひらめきアイテム」を示している。 ・データの活用について、「PPDAC」サイクルによる分析の仕方を5、6年生に示している。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・学習したことを日常生活で生かすことができるように「おうちで算数」や「学んだことを生かそう」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じた学びができるように、2年生以上の巻末に「プラス・ワン」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問題解決型学習の授業展開ができるように「問題をつかもう→自分で考えよう→学び合おう→ふりかえろう→まとめよう使ってみよう」の順で構成している。 ・1年生は、巻頭に幼稚園や保育園、日常生活での出来事を想起させる写真を掲載している。6年生は、巻末に中学校の数学で学ぶ内容を紹介している。 【分量・装丁】 ・1年生: 上下分冊, 上A4判, 下B5判 ・2年生~6年生: 1冊, B5判	・文字はユニバーサルフォントを使用し、配色はカラーユニバーサルデザインを使用している。 ・考え方を説明している児童の写真や絵に吹き出しをつけて掲載している。 ・単元の番号を学習内容別に色分けしている。 ・課題や大切な用語は、大文字にしたり、囲ったりしている。
学図 11	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん上 みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん下 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 3年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋	・学校生活を含めた日常生活や算数の課題から「問い」を発見できるような場面をイラストで表現し、「問い」を「めあて」とするような工夫をしている。 ・巻末の補充問題では、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項である「理数教育の充実」に関して、単元冒頭の「はてなを発見」では、身の回りの生活や算数の学習の中から問題を発見できるような工夫をしている。「算数をつかって」では、様々な日常生活の場面と算数を関連付けて考えられるような工夫をしている。	【知識及び技能】 ・知識及び技能の定着を図るために単元末に「できるようになったこと」を掲載している。また、作図の仕方や計算の仕方等、映像コンテンツを視聴できる二次元コードを掲載している。 ・割合に関する学習の充実として、3年生で「倍の計算」を小単元として位置付けている。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・学習での数学的な見方・考え方を振り返る活動「考え方モンスターでふりかえろう」を設定している。また、数学的な見方・考え方をキャラクター化し、後の学習で活用できるような工夫をしている。 ・データの活用について、2年生以上で「整理」と「活用」に分け、段階的に学べるような工夫をしている。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・身の回りの題材を扱い、主体的に取り組むことができるような工夫をしている。 【かわさき教育プラン】 ・つまずきやすい内容について、2年生以上に「算数パトロール隊」を掲載し、誤答の例示を具体的に示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・数学的な活動が行われるように、次の学習の「問い」につながる「はてな」を設定している。 ・1年生は、幼稚園、保育園の遊びを想起させるページを設定している。6年生は、「中学校へのかけ橋」を別冊で設け、6年間の既習を振り返ったり、中学校で扱う内容の導入を扱ったりしている。 【分量・装丁】 ・1年生~6年生: 上下分冊, AB判	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウト等に配慮して編集している。 ・キャラクターを用いて、吹き出し等で短い言葉でまとめている。 ・「課題」は青、「めあて」と「まとめ」は赤で囲んでいる。 ・「課題」「めあて」「まとめ」は大文字にしている。
教出 17	しょうがくさんすう 1 小学算数 2上 小学算数 2下 小学算数 3上 小学算数 3下 小学算数 4上 小学算数 4下 小学算数 5 小学算数 6	・身の回りの課題を写真やイラストで掲載し、生まれた「問い」を学習の「めあて」とし、学習の「まとめ」の後に、さらに「問い」がつながるような工夫をしている。 ・巻末の補充問題では、関連ページを示し、基礎的・基本的な問題や発展的な問題を掲載し、習熟の程度に応じた学びができるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項である「理数教育の充実」に関して、単元冒頭では、身近な題材から問題を発見するよう構成になっており、目的意識をもって数学的活動に取り組めるような工夫をしている。単元末の「学んだことを使おう」では、学習したことを日常生活で活用し、何ができるようにしたかを実感できるような工夫をしている。	【知識及び技能】 ・既習事項とのつながりを確認できるように「学びのマップ」「学びの手引き」を巻末に掲載している。また、各課題に対するまとめを視覚的に表現した映像コンテンツを視聴できる二次元コードを掲載している。 ・割合に関する学習の充実として、3年生で「倍の計算」を単元化して位置付けている。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・既習の数学的な見方・考え方が分かる「算数のミカタ」「算数の考え方」「つながるミカタ」を、巻頭及び単元内に示している。また、単元末には、数学的な見方・考え方を示した4コマ漫画を掲載している。 ・データの活用について、「PPDAC」サイクルによる分析の仕方を4年生以上に示している。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・興味をもって取り組めるように「広がる算数」や「算数ワールド」を設定したり、体験的な活動を通して問題を発見、解決したりできるような工夫をしている。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じた学びができるように、2年生以上の巻末「ステップアップ算数」には、「きほんの問題」と「ジャンプ問題」を選択できるようにしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問題解決型学習の授業展開ができるように「問題をつかむ→自分の考えをもつ→話し合って深める→ふりかえってまとめる→広げて考える」の順で構成している。 ・1年生は、就学前の経験や生活科を中心とした日常生活とのつながりがもてるように写真を掲載している。6年生は、6年間の総復習ページや中学数学の入り口として「数学のトピア」を掲載している。 【分量・装丁】 ・1年生, 5年生, 6年生: 1冊, B5判 ・2年生~4年生: 上下分冊, B5判	・ユニバーサルデザインフォントを採用し、識別しやすい配色を用いている。 ・課題は、マークと緑の線で示している。 ・1年生は、「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」を、マークと言葉で示し、色の網掛けで囲んでいる。 ・大事な用語は、太文字、赤枠囲み、色網掛けで示している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	わくわくさんすう1 すたあとぶっく わくわくさんすう1 わくわく算数2上 わくわく算数2下 わくわく算数3上 わくわく算数3下 わくわく算数4上 わくわく算数4下 わくわく算数5 わくわく算数6	・日常生活や学習内容を関連付けるイラストや写真を掲載したり、既習と未習を明確にする吹き出しを掲載したりして「問い」を見いだすことができるような工夫をしている。 ・巻末には、基礎的・基本的な問題と、発展的な問題を掲載し、習熟の程度に応じた学びができるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項である「理数教育の充実」に関して、単元冒頭では、自らが課題意識や学習の見通しをもって取り組めるように、日常や既習内容と関連付けるような工夫をしている。学期末や学年末には、活用単元を設定し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を育成できるような工夫をしている。	【知識及び技能】 ・既習事項をいつでも確認できるように巻末で「学びをつなげよう」を掲載している。また、作図の仕方等、映像コンテンツを視聴できる二次元コードを掲載している。 ・割合に関する学習の充実として、3年生で「何倍でしょう？」を単元化して位置付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2年生以上に各学年で働かせた数学的な見方・考え方を「考えの進め方」に掲載している。また、数学的な見方・考え方に関するキャラクターの吹き出し(言葉)には色付けをしている。 ・データの活用について、「PPDAC」サイクルによる分析の仕方を5、6年生に示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心に応じて自主的に取り組むことができるように「学びのサポート」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じた学びができるように、2年生以上の巻末「もっと練習」には、「補充」と「挑戦」問題を選択できるようにしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・全ての単元において「問題」→「学びのめばえ」→「本時のめあて」→「自力思考」→「集団思考」→「まとめ」→「適用問題」→「もっと練習」の流れを活動の様子で構成している。 ・1年生は「わくわくさんすう」で、算数と関連する体験活動を設定している。6年生は巻末「数学へのとびら」で、様々な仕事と算数、数学の関係をインタビュー形式で掲載している。 【分量・装丁】 ・1年生：上下分冊、上A4判、下B5判 ・2年生～4年生：上下分冊、B5判 ・5年生、6年生：1冊、B5判	・すべての児童が支障なく学習できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した字体を使用している。 ・本時の「めあて」を赤字で強調している。 ・字体をすべて統一し、色分けまたは囲みで区別し掲載している。 ・算数用語は、太文字で表記している。
116 日文	しょうがくさんすう1① しょうがくさんすう1② 小学算数2上 小学算数2下 小学算数3上 小学算数3下 小学算数4上 小学算数4下 小学算数5 小学算数6	・日常生活や算数の課題から「問い」を見いだすことができるような場面をイラストや写真で表現し、「問い」を「めあて」とするような工夫をしている。 ・巻末には、3段階に分けた練習問題を掲載し、習熟の程度に応じた学びができるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項である「理数教育の充実」に関して、単元冒頭に写真やイラストを掲載し、興味、関心をもたせるような工夫をしている。単元末の「使ってみよう」では、学習したことを用いて身近な生活や学習に活用できるような工夫をしている。	【知識及び技能】 ・既習事項の確認ができるように単元末に「わかっているかな」「たしかめよう」を掲載している。また、学習で使用する道具の使い方等、映像コンテンツを視聴できる二次元コードを掲載している。 ・割合に関する学習の充実として、3年生で「倍の見方」を単元化して位置付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2年生以上には、各学年で働かせた数学的な見方・考え方をいつでも確認することができるように単元内に「見方・考え方」として示すとともに、巻末に「学び方ガイド」を掲載している。 ・データの活用について、「PPDAC」サイクルによる分析の仕方を5、6年生に示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・算数と他教科や日常生活とを結び付けた総合的な問題を「算数ジャンプ」に掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じた学びができるように、2年生以上の巻末「算数マイル」には、「チェック」「チャレンジ」「ジャンプ」を選択できるようにしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭の「さあ、算数の学習をはじめよう！」では、授業展開と合わせて「どんな問題かな」→「考えよう」→「学びあおう」→「ふり返ろう」という学び方を具体的な事例で掲載している。 ・1年生は「かずやかたちでたのしく」で、絵本の読み聞かせのページを掲載している。6年生は巻末で、「もうすぐ中学生」に小学校からの発展問題を掲載している。 【分量・装丁】 ・1年生～4年生：上下分冊、B5判 ・5年生、6年生：1冊、B5判	・文字はユニバーサルフォントを使用し、配色はカラーユニバーサルデザインを使用している。 ・「定義」や「まとめ」は区別できるようにデザインの違う囲みで示している。 ・「単元名」とページ番号を領域別に色分けしている。 ・算数用語や説明は、本文と字体を変えて表記している。

令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

理科

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい理科3 新編 新しい理科4 新編 新しい理科5 新編 新しい理科6	・児童が問題を科学的に解決する過程と各学年の主な重点を、巻頭の「理科の学び方」として掲載している。 ・学んだことを自分なりに振り返る「ふりかえろう」、練習問題を解いて学んだことを確かめる「たしかめよう」のコーナーを設定する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、単元の導入に「レットトライ!」を設定し、活動や写真資料を基に問題を見いだす工夫をしている。問題解決の過程をつないだ「学びのライン」をページ左端に記しており、見直しをもって観察、実験を進める工夫をしている。	【知識及び技能】 ・実験器具の説明や使い方は、巻末にまとめて掲載している。 ・単元末に「ふりかえろう」「たしかめよう」を、巻末に「1年間をふりかえろう」を設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の過程を、「問題をつかもう」「問題」「予想」「計画」「観察・実験」「考察」「まとめ」で構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単元の始めには「学ぶ前に」を、単元の終わりに「学んだ後に」を設定しており、見直しと振り返りの工夫をしている。 【かわさき教育プラン】 ・地球の未来に関連する資料には、SDGsマークを付ける工夫をしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の導入では、二次元コードで話し合いの流れの例を閲覧できる工夫をしている。 【分量・装丁】 ・3年:178ページ 観察12、実験14、活動5 ・4年:202ページ 観察16、実験16、活動3 ・5年:170ページ 観察6、実験15、活動2、調査1 ・6年:202ページ 観察3、実験22、活動5、調査3 ・判型をA4判としている。	・問題解決の過程をページ左端に矢印でつなぎ、「問題」「実験」「まとめ」を大きく示す工夫をしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用しており、理科用語は太字に下線付けて表記している。 ・注意が必要な活動場面には、赤地に白字で「きげん」のマークを掲載している。
4 大日本	新版 たのしい理科3年 新版 たのしい理科4年 新版 たのしい理科5年 新版 たのしい理科6年	・児童が問題を科学的に解決する過程と各学年の主な重点を、巻頭の「理科の学び方 ようこそ!理科の世界へ」に掲載している。 ・巻頭見開きに、各学年の理科の学習の導入となる写真やマンガを掲載する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、単元の導入で体験や経験を基にふしぎを発見する工夫をしている。問題解決の全過程を掲載し、「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の3色の帯をページ左端に記し、見直しをもって観察、実験を進める工夫をしている。	【知識及び技能】 ・実験手順、用具の使い方は、二次元コードで確認する工夫をしている。 ・単元末に、学習内容を確認する「確かめよう」のページを設定し、二次元コードで答えを見られる工夫をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の過程を「問題」「予想」「計画」「観察・実験」「結果」「考察」「結論」で構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単元の始めには、学習の見直しをもつための二次元コードを設定しており、単元末には「ふりかえろう」のコーナーを設定する工夫をしている。 【かわさき教育プラン】 ・学習内容を生活に生かす「りかのたまてばこ」や「サイエンスワールド」を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「りかのたまてばこ」や「サイエンスワールド」では、学習した内容を生活と関連付け、深い学びにつなげる工夫をしている。 【分量・装丁】 ・3年:205ページ 観察12、実験12 ・4年:229ページ 観察22、実験16 ・5年:197ページ 観察4、実験17、調査5 ・6年:233ページ 観察2、実験13、調査7 ・判型をA4判としている。	・実験や観察を行うための準備物を二次元コードで確認する工夫をしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用しており、理科用語は太字で表記している。 ・注意が必要な活動場面には、赤地に白字で「注意」のマークを掲載している。
11 学図	みんなと学ぶ 小学校 理科 3年 みんなと学ぶ 小学校 理科 4年 みんなと学ぶ 小学校 理科 5年 みんなと学ぶ 小学校 理科 6年	・巻頭の「科学の芽を育てよう」では、問題解決の過程と各学年の主な重点を、「理科モンスター」のキャラクターとともに掲載する工夫をしている。 ・巻頭で、「理科の世界を冒険しよう」を設定し、「理科モンスター」のキャラクターを見付けながら理科の資質・能力を身に付けていく工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、単元の導入に「できるようにしたい」を設定し、単元ごとに3つの資質・能力を学習前に提示する工夫をしている。問題解決の過程で育成を目指す資質・能力を「理科モンスター」として示し、学習を進める工夫をしている。	【知識及び技能】 ・観察、実験に関する基礎的・基本的な技能について、巻末にまとめて掲載している。 ・単元末に、学習内容を確認する「ふりかえろう」を設定し、二次元コードからも確認できるように工夫している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の過程を、本文では「問題を見つけよう」「問題」「予想」「計画」「観察・実験」「結果」「考察」「わかったこと」で構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単元の始めに「できるようにしたい」を、単元の終わりに「できるようになった」のコーナーを設定し、「理科モンスター」とともに見直しと振り返りを意識する工夫をしている。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsと単元の関わりを裏表紙に示し、関連する目標を記載する工夫をしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・予想や考えを整理して伝え合う場面や、多様な考えを基に学びを深め合う場面では、キャラクターの吹き出しで例示する工夫をしている。 【分量・装丁】 ・3年:188ページ 観察18、実験17 ・4年:208ページ 観察18、実験19 ・5年:196ページ 観察5、実験16、調査6 ・6年:236ページ 観察6、実験22、調査2 ・判型をA4判としている。	・実験や観察を行うための準備物を「準備」に、チェックボックスで掲載する工夫をしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用し、理科用語は太字で表記している。 ・注意が必要な活動場面には、赤地に白字で「!」と赤字で「注意」のマークを掲載している。
17 教出	みらいをひらく 小学校 理科3 未来をひらく 小学校 理科4 未来をひらく 小学校 理科5 未来をひらく 小学校 理科6	・巻頭の「学習の進め方」では、児童が問題を科学的に解決する過程と各学年の主な重点を、話型の例とともに掲載する工夫をしている。 ・巻頭に「〇年で学んだこと」のページを設定し、3学年では「ありがとう生活科!よろしく理科!」のページを設定している。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、単元の導入では、児童が活動している様子や不思議さを感じる写真の工夫をしている。キャラクターのアイコンで問題解決の過程を表現し、それらを1本のラインでつなぎ、問題解決の流れが分かる工夫をしている。	【知識及び技能】 ・学校の状況や児童に応じて選べるように、複数の方法を掲載する工夫をしている。 ・単元末には、学びを確認する「振り返ろう」「確かめよう」のページを設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の過程として、「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「結果」「結果から考えよう」「結論」の流れで構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「学習前の〇〇さん」「学習後の〇〇さん」のコーナーを設定し、見直しと振り返りを意識する工夫をしている。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭で、SDGsについて紹介するとともに、写真と関連するSDGsのアイコンを示し、児童が自分事として考えるように問いかける工夫をしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に、「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」へ国語で学んだ力を生かそうのページを設定し、主に問題解決の場面で活用する話型を例示する工夫をしている。 【分量・装丁】 ・3年:193ページ 観察13、実験15、調査2 ・4年:233ページ 観察16、実験18 ・5年:209ページ 観察4、実験21、調査3 ・6年:225ページ 観察3、実験22、調査8 ・判型をA4変型判としている。	・問題解決の過程をページ左端に矢印でつなぎ、「問題」「実験」「結論」を白文字で示し、実験部分の背景色を変える工夫をしている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用しており、理科用語は太字にマーカーで表記している。 ・注意が必要な活動場面には、赤地に白字で「注意」や、赤地に黄字で「!」と白字で「きげん」のマークを掲載している。

発行者の 番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
26 信教	楽しい理科 3年 楽しい理科 4年 楽しい理科 5年 楽しい理科 6年	・児童が問題を科学的に解決する過程を、巻頭の「理科の学習の進め方」に掲載している。 ・巻頭の「1年間の学習」では、年間を通じた生物や天体などの観察時期を示す「観察やさいばい活動の時期」を掲載する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、単元の導入ページでは、自然の事物・現象から問題を見いだせるよう、主に信州地域の特色ある身近な自然の写真や挿絵の工夫をしている。巻頭に「理科の学習の進め方」を設定し、問題解決学習の進め方を図で示している。	【知識及び技能】 ・学習場面の随所で使用する実験器具の扱い方について掲載している。 ・単元末に学習内容を確認する「ふりかえろう」のページを設定し、二次元コードから「たしかめよう(問題)」につなげる工夫をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の過程を、本文では「見つけよう」「問題」「観察・実験」「結果」「わかったこと」の進め方で構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学びを次の学びや生活につなげる「しらべてみよう」「しりよう」のコーナーを設定している。 【かわさき教育プラン】 ・6年の巻末では、SDGsと、理科で学んだ内容を関係付ける資料を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の始めに「思い出そう」を設定し、既習事項を確認しながら見直しをもって問題解決を進める工夫をしている。 【分量・装丁】 ・3年生164ページ 観察18、実験24 ・4年生192ページ 観察22、実験35 ・5年生156ページ 観察15、実験22、調査5 ・6年生188ページ 観察16、実験36、調査12 ・判型をA判としている。	・実験や観察を行うための準備物を「じゅんぴ」に、ボックスで掲載する工夫をしている。 ・ユニバーサルデザインに配慮している。また、理科用語はゴシック体で記載している。 ・注意が必要な活動場面には、オレンジ地に黄で「！」と黄地に赤字の「注意」マーク、青地に黄で「！」と黄地に青字の「注意」マークを掲載している。
61 啓林館	わくわく理科 3 わくわく理科 4 わくわく理科 5 わくわく理科 6	・巻頭の「理科の楽しみ方」では、問題を科学的に解決する過程、各学年の主な重点、理科を楽しむ見方・考え方を掲載する工夫をしている。 ・巻頭に「学びの中でICTを活用してみよう」のページを設定し、GIGA端末の活用や二次元コードを利用する工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、単元の導入では、自然や児童の体験の様子の写真を掲載している。問題解決の過程を「学びのサイクル」で示し、問題解決の過程をページ左端の「学びのライン」でつなぎ、学習の見直しをもつ工夫をしている。	【知識及び技能】 ・実験器具の扱い方は、単元内のページに掲載し、二次元コードも設定している。 ・基礎・基本の定着を図る「たしかめよう」、知識の活用を図る「活用しよう」を設け、「スマート解説」の二次元コードから解説の動画を見られるよう設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の過程を「問題をつかもう」「問題」「予想」「計画」「観察・実験」「結果」「考察しよう」「まとめ」「もっと知りたい」で構成している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単元の始めに「はじめに考えよう」、単元の終わりに「もう一度考えよう」のコーナーを設定し、見直しと振り返りを意識する工夫をしている。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭でSDGsとSTEAMを紹介し、「わくわくSDGs」の二次元コードを設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の導入では「思い出そう」を設定し、生活経験や既習事項を想起させ、主体的な問題解決につなぐ工夫をしている。 【分量・装丁】 ・3年190ページ 観察13、実験14、活動1 ・4年202ページ 観察16、実験18、活動1 ・5年194ページ 観察5、実験17、活動4 ・6年218ページ 観察3、実験22、活動6 ・判型をA判としている。	・児童が見方・考え方を働かせている場面では、キャラクターの吹き出し中の言葉にマーカーを引いている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用しており、理科用語は太字で記載している。 ・注意が必要な活動場面には、黒で縁取った黄地に黒字で「注意」のマークや数種類のピクトグラムを掲載している。

令和6年度使用教科用図書審議結果 ⑦

生活

発行者の番号略称	書名	編集の趣旨と工夫	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	どきどきわくわく 新編 あたらしいせいかつ上 あしたへジャンプ 新編 新しい生活 下	・児童の「やってみよう」という意欲を喚起するために、単元のはじめに見開きの写真や二次元コードを掲載している。 ・生活科で育成を目指す資質・能力が明確になるよう学習活動ごとにマークを付し、子どもの気付きが次の活動へつながるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、身近な人・もの・こととの関わり、それらを基に見付ける、比べる、例える等の学習活動を位置付け、体験活動と表現活動が豊かに行き来するよう工夫している。	【知識及び技能の基礎】 ・巻末の「かつどうべんりてちよう」で、学習活動に即した資料を掲載している。 ・活動における気付きを促す吹き出しや、安全に関する約束を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等の基礎】 ・感じたことや考えたことを表すワークシートや情報機器を使った表現方法を掲載している。 ・観察の仕方や飼育の仕方、調べ方等の具体的な活動のヒントを掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単元のはじめに、体験活動への意欲をもたせるように児童が活動している写真を掲載している。 ・幼児教育で行ったことを児童が想起している吹き出しを掲載している。 ・単元の終末に、これからも続けたい活動を考えている場面を吹き出して掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・多様性を考慮し、外国人の児童や、車椅子の児童、地域の乳幼児、高齢者等と活動しているイラストを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・児童の思いや願いからはじまり、友達と関わりながら課題を解決していく構成になっている。 ・育成を目指す資質・能力が構造化して見えるよう「！（知識及び技能）」「？（思考力、判断力、表現力等）」「♡（学びに向かう力、人間性等）」のマークで単元の内容を構成している。 【分量・装丁】 ・上巻、下巻ともに9単元を掲載している。 ・大きさはA4判としている。 ・巻末に、実物大の図鑑を掲載している。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・見せたい部分が浮き立つよう余白を多くとって写真やイラストを掲載している。 ・上巻のはじめに、スタートカリキュラムの具体例を示した小判ページを掲載している。 ・小単元名や発問に係る文章を原則としてページの同じ位置に配置している。 ・漢字にルビを付けている。
4 大日本	新版 たのしいせいかつ上 だいすき 新版 たのしいせいかつ下 ひろがれ	・季節に適した具体的な活動や体験が行われるように、季節ごとに単元を構成している。 ・「がくしゅうどうぐぼこ」「学び方名人」「せいかつことば」等の学習内容に関連する資料を掲載し、児童の学びを支えるための工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、身近な人・もの・こととの関わりをもととする意欲を引き出すために、子どもの活動の視点を示唆するビンゴカードを掲載したり、季節ごとに植物の成長に合わせた活動をしたりして、季節に応じて単元を配列するよう工夫をしている。	【知識及び技能の基礎】 ・児童が学習の中で活用できる言葉を「せいかつことば」「きらきらことば」として掲載している。 ・季節ごとの遊びや行事をイラストや写真で掲載している。 【思考力、判断力、表現力等の基礎】 ・児童が思ったり考えたりしたことを表しているカードやワークシートを掲載している。 ・感じたり考えたりしたことを黒板や掲示物、情報機器を使って発表しているイラストを掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・児童の思いや願いを生み出すために、単元のはじめに見開きで写真やイラストを掲載している。 ・学習後の振り返りを書き込む欄やその時の表情で表す「きもちマーク」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子に乗っている児童と一緒に活動している場面をイラストで掲載している。 ・地域で働く方や高齢者と活動している場面をイラストや写真で掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元を通して、友達や様々な人と関わりながら学習を進めていく構成になっている。 ・季節に適した学習活動が展開できるように季節ごとに単元を構成している。 ・単元を通して、どんな思いや願いをもったか、どんな気持ちになったかを絵や文で書き込むことができる構成になっている。 【分量・装丁】 ・上巻は4単元、下巻は6単元を掲載している。 ・大きさはA4判としている。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・児童が見通しをもてるように、単元のはじめに具体的な活動を示す写真やイラストを掲載している。 ・初めて出てくる漢字にはルビを付けている。 ・発達段階に合わせて、文字数や文章量を少なくして掲載している。
11 学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ下	・児童の思いや願いから活動がつながっていくように、ページの見開きで学習の流れが見える構成になっている。 ・一つ一つの活動に必然性が生まれるように、自分で決めたり、課題を見付け、解決したりして、活動がよりよくなるような工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、同じ場所のまちの絵を季節に合わせて示す等、季節に応じた人・もの・ことと関わりをもつ意欲を持つたり、自然やまちの様子の変化に気付いたりできるよう工夫している。	【知識及び技能の基礎】 ・自然遊びや栽培活動、飼育活動等の学習活動に即して「ものしりノート」や「ものしり図かん」で資料を掲載している。 ・巻末に、観察やインタビューの方法等を「学び方図かん」で掲載している。 【思考力、判断力、表現力等の基礎】 ・様々な学習活動において、児童が考え、相談し、工夫している様子を掲載している。 ・おもちゃ作りの単元では、素材自体の動きの面白さや不思議さへの気付きから遊びが生まれるように、素材遊びの様子を紹介している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各ページの見出しには、児童の思いや願い、気付きなどの言葉を掲載している。 ・自分で決めたり、課題を見付け、解決したりして活動をよりよくしようとする様子を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「家庭と生活」の単元では、家庭の中で様々な人が家事をする写真を掲載している。 ・多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童、多様な家族構成の様子を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・ページ見開きを一つの活動単位とし、思いや願いをもち、活動し、伝え合い、振り返るという流れで構成している。 ・単元を通して次の課題への期待をもった表現があり、学びのつながりがわかるように構成している。 ・学習したことが生活とつながるように単元の終わりには「もっと〇〇したい」のページを掲載している。 【分量・装丁】 ・上巻は10単元、下巻は6単元を掲載している。 ・大きさはA4変形判としている。	・漢字にルビを付けている。 ・ページの見開きを一つの活動単位としている。 ・カラーユニバーサルの観点を取り入れた配色にしている。 ・本文は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・写真は児童の目線の高さで撮影されたものを掲載している。
17 教出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ	・単元の学びが見えるように、導入では「わくわくスイッチ」を、単元の展開では「きづく」「かんがえる」「つたえる」「じぶんでできる」等のマークを、単元の終末では振り返りの欄を掲載している。 ・単元の最終ページに「もしも」のページを掲載し、児童の思考を促す工夫をしている。	・教育内容の主な改善事項のうち、「体験活動の充実」に関連して、「きづく」「かんがえる」等の6つの育みたい資質・能力を明確にした上で、単元の始まりに「わくわくスイッチ」を示すことで、身近な人・もの・ことについて、多様な方法で関わりあうことができるよう工夫している。	【知識及び技能の基礎】 ・巻末の「学びのポケット」で学習方法や安全等についてポイントを掲載している。 ・ICT機器の活用方法を上下巻ともに巻末のページに掲載している。 【思考力、判断力、表現力等の基礎】 ・板書例では図、付箋等を使って気付きや情報を整理している様子を掲載している。 ・おもちゃ作りの単元では、素材自体の動きの面白さや不思議さへの気付きから遊びが生まれるように、単元のはじめに素材遊びを紹介している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人一人の課題が明確になるよう単元のはじめに「わくわくスイッチ」を掲載している。 ・単元のつながりが見えるように、「はっけんロード」で学びの道筋を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・多様性を考慮し、外国人の児童や車椅子の児童と一緒に活動しているイラストや写真を掲載している。 ・下巻「まちが大好きなけんたい」では、川崎市麻生区でのまち探検の様子を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・どの単元でも「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちようせんする」「じしんをもつ」という育みたい資質・能力を明確にして構成している。 ・単元の終末「なにをかんじたかな」のページでは、学習を振り返り、次にやってみようことを書き込む欄を掲載している。 ・児童の思考を促すために、単元の最終ページに「もしも」のコーナーを設けている。 【分量・装丁】 ・上巻は9単元、下巻は7単元を掲載している。 ・大きさはA4判にしている。	・漢字にルビを付けている。 ・カラーユニバーサルの観点を取り入れた配色にしている。 ・本文は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・文字数や文章量に配慮して掲載している。 ・「いぐら」という絵本のキャラクターを掲載している。